

# 令和5年産(2023年産)農畜産物に係る 十勝管内農協取扱高について〔概算〕

〔令和5年(2023年)12月22日  
十勝地区農業協同組合長会  
十勝農業協同組合連合会  
北海道十勝総合振興局〕

## 1 考え方

本集計は、令和5年産農畜産物に係る十勝管内23農業協同組合の取扱見込額について、農協ごとに試算した概算値の集計であり、商系取扱高（農協以外の一般商社等取扱分）は含んでいないことから、十勝管内農業産出額とは異なる。

取扱高には、直接支払交付金、生乳生産者補給金を含むが、産地交付金、農業共済金支払額は含まない。

## 2 令和5年の概要

**農協取扱高は、耕種部門が増収、畜産部門は前年並に推移し、  
3, 573億円（前年比102%）**

### ◇耕種部門取扱高◇1, 403億円（対前年比105%〔構成比39.2%〕）

本年は、生育は総じて平年より早く進んだ作物が多かった。

- 小麦は、生育期間中の天候に恵まれ、登熟も良好で収量が前年を上回ったことなどから、前年比23%増。
- 豆類は、小豆や菜豆で高温や収穫期の降雨の影響などにより収量や品質が低下したものの、大豆収量が前年産を上回ったことなどから、前年比3%増。
- ばれいしょは、生育期間中の天候に恵まれ、一部では高温による歩留低下が見られたものの、不作だった前年産より収量が増加したことなどから、前年比13%増。
- てんさいは、作付面積の減少に加え、夏以降の高温や病害の発生等により根中糖分が低下したことなどから、前年比19%減。
- 野菜は、ながいもでは不作だった前年産より収量が増加したものの、一部の品目で生育期間中の高温により収量が減少したことなどから、前年比±0。

### ◇畜産部門取扱高◇2, 170億円（対前年比100%〔構成比60.8%〕）

- 酪農は、個体販売額の低下や生産抑制及び猛暑の影響により生乳生産量が前年を下回ったが、期中の価格改定等により乳価が上昇したことから、前年比3%増。
- 肉用牛は、枝肉価格や素牛取引価格が下落したことから、前年比5%減。

## 3 取扱高集計結果

（単位：億円、%）

区分	令和5年(概算値)		令和4年(概算値)		対前年比		
	取扱高	構成比	取扱高	構成比	増減額	前年比	
耕種	麦類	411	11.5	335	9.6	76	123
	雑穀・豆類	215	6.0	208	6.0	7	103
	ばれいしょ	321	9.0	285	8.1	36	113
	てんさい	208	5.8	256	7.3	△48	81
	野菜	244	6.8	244	7.0	0	100
	その他	4	0.1	2	0.1	2	200
	小計	1,403	39.2	1,330	38.1	73	105
畜産	酪農	1,466	41.1	1,429	40.9	37	103
	生乳	1,325	37.1	1,269	36.3	56	104
	肉用牛	647	18.1	684	19.6	△37	95
	豚・鶏	50	1.4	43	1.2	7	116
	その他	7	0.2	8	0.2	△1	88
	小計	2,170	60.8	2,164	61.9	6	100
総合計	3,573	100.0	3,494	100.0	79	102	

※ 取扱高は税抜き。